

## シラバス

指定番号 98

商号又は名称： 社会福祉法人 慶徳会

科目番号・科目名	(1)職務の理解			
指導目標	①介護職が働く現場や仕事の内容を理解する。 ②介護保険で提供されるサービス、介護保険外のサービスについて理解する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 多様なサービスと理解	2	2		<講義内容> ・講師による講義の他、視聴覚教材を活用し、理解を深める。
② 介護職の仕事内容や働く現場の理解	4	4		<講義内容> ・講師による講義の他、視聴覚教材を活用し、理解を深める。 ・施設見学を行う。(養護老人ホーム・特別養護老人ホーム、デイサービスセンター、小規模多機能型居宅介護、有料老人ホーム、ヘルパーステーション等)
(合計時間数)	6	6		

使用する機器・備品等	中央法規出版株式会社 発行 ・介護職員初任者研修テキスト ・DVD 教材
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 98

商号又は名称： 社会福祉法人 慶徳会

科目番号・科目名	(2) 介護における尊厳の保持・自立支援			
指導目標	①高齢者を守るための概念 や制度を 知り、 尊厳の保持、QOL・ノーマライゼーションについて理解する ②自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点を形成する。 ③尊厳を損ねる高齢者虐待に対す理解深める。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 人権と尊厳を支える介護	3	3		<講義内容> ・人間の尊厳と自立 ・ノーマライゼーションの意義 ・個人の尊厳と法制度 ・高齢者虐待 ・利用者の尊厳の保持
② 自立に向けた介護	4	4		<講義内容> ・介護サービスの社会的役割 ・福祉理念と介護サービスの意義 ・サービス提供の基本視点 ・あるべき主体的な生活 ・要介護状態の原因疾患 ・介護予防とは ・介護予防活動の目標 ・介護予防活動を支える 5つの考え方
③ 人権啓発に係る基礎知識	2	2		<講義内容> ・人権及び人権啓発について
(合計時間数)	9	9		

使用する機器・備品等	中央法規出版株式会社 発行 ・介護職員初任者研修テキスト
------------	---------------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。  
 ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。  
 ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。  
 ※ 項目ごとに時間数を設定すること。  
 ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 98

商号又は名称： 社会福祉法人 慶徳会

科目番号・科目名	(3) 介護の基本			
指導目標	①介護職に求められる専門性と基本的な役割、多職種との連携の必要性について理解する。 ②介護職員の倫理や職務について解する。 ③生活支援の場で出会う事故や感染、介護におけるリスクを知り、その対応策等を学ぶ。 ④介護職におこりやすい健康障がいやストレスに対する健康管理、ストレスマネジメントのあり方を学ぶ。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護職の役割、専門性と多職種との連携	1.5	1.5		<講義内容> ・介護環境の特徴の理解 ・介護の専門性 ・介護にかかわる職種
② 介護職の職業倫理	1.5	1.5		<講義内容> ・介護サービスの公共性と職業倫理 ・利用者・家族に対する責任 ・社会に対する責任
③ 介護における安全の確保とリスクマネジメント	1.5	1.5		<講義内容> ・介護における安全の確保 ・事故予防、安全対策 ・感染対策のための基本的知識  <演習実施方法> 演習手法：「リスクマネジメント」について、班体制を用いてグループディスカッションを行う。
④ 介護職の安全	1.5	1.5		<講義内容> ・健康管理とストレスマネジメント ・介護職の労働の権利と労働法  <演習実施方法> 演習手法：腰痛体操や正しい介護方法について、講師の指導のもと、受講生が実際に行う。
(合計時間数)	6	6		

使用する機器・備品等	中央法規出版株式会社 発行 ・介護職員初任者研修テキスト
------------	---------------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。  
 ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。  
 ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。  
 ※ 項目ごとに時間数を設定すること。  
 ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 98

商号又は名称： 社会福祉法人 慶徳会

科目番号・科目名	(4) 介護・福祉サービスの理解と医療との連携			
指導目標	①介護保険制度の目的、サービス利用の流れ、各専門職の役割・責務について、その概要を理解する。 ②医行為の考え方、一定の要件のもとに介護福祉士等が行う医行為などについて学ぶ。 ③障がい者自立支援制度の理念、目的、内容について学ぶ。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護保険制度	4	4		<講義内容> ・介護保険制度創設の背景、目的及び動向 ・介護保険制度の仕組みの基本的理解 ・制度を支える組織・団体の機能と役割、財源 ・ケアマネジメント
② 医療との連携とリハビリテーション	2	2		<講義内容> ・医行為と介護 ・医療と介護の連携 ・リハビリテーション職種との連携  <演習実施方法> 演習手法：体温や脈拍の測定等のバイタルチェックを、講師の指導のもと、受講生が実際に行う。
③ 障がい者自立支援制度およびその他制度	3	3		<講義内容> ・障がい者福祉制度の理念 ・障がい者自立支援制度の仕組みの基礎的理解 ・個人の人権を守る制度の概要
(合計時間数)	9	9		

使用する機器・備品等	中央法規出版株式会社 発行 ・介護職員初任者研修テキスト
------------	---------------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。  
 ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。  
 ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。  
 ※ 項目ごとに時間数を設定すること。  
 ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 98

商号又は名称： 社会福祉法人 慶徳会

科目番号・科目名	(5) 介護におけるコミュニケーション技術			
指導目標	①介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割を理解する。 ②チームケアにおける専門職種でのコミュニケーションの有効性、重要性を理解するとともに、業務で必要となる組織上のさまざまな記録に関して学ぶ。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護におけるコミュニケーション	3	3		<講義内容> ・介護におけるコミュニケーションの技法 ・利用者・家族とのコミュニケーションの実際 ・利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実際  <演習実施方法> 演習手法：講師の指導のもと、コミュニケーション技法を用い、ロールプレイングを行う。
② 介護におけるチームのコミュニケーション	3	3		<講義内容> ・観察、記録、情報伝達 ・コミュニケーションをうながす環境  <演習実施方法> 演習手法：班体制を用い、講師の指導のもと、サービス担当者会議のロールプレイングを行う。
(合計時間数)	6	6		

使用する機器・備品等	中央法規出版株式会社 発行 ・介護職員初任者研修テキスト
------------	---------------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 98

商号又は名称： 社会福祉法人 慶徳会

科目番号・科目名	(6) 老化の理解			
指導目標	①加齢・老化に伴う心身の変化や特徴を理解する。 ②高齢者に多い疾病の種類とその症状や特徴、日常生活所の留意点を理解する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 老化に伴うところとからだの変化と日常	3	3		<講義内容> ・老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴 ・老化に伴うからだの変化と日常
② 高齢者と健康	3	3		<講義内容> ・高齢者の疾病と生活上の留意点 ・高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点
(合計時間数)	6	6		

使用する機器・備品等	中央法規出版株式会社 発行 ・介護職員初任者研修テキスト
------------	---------------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 98

商号又は名称： 社会福祉法人 慶徳会

科目番号・科目名	(7) 認知症の理解			
指導目標	①認知症ケアの理念(パーソンセンタードケア)や利用者中心というケアの考え方について理解する。 ②認知症の概念や原因疾患、病態等を理解する。 ③認知症の中核症状・周辺症状の理解、ケアの原則について学ぶ。 ④事例を通して家族の思いを理解し、介護者への支援の仕方を学ぶ。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 認知症を取り巻く状況	1.5	1.5		<講義内容> ・認知症介護の基本原則 ・最新の認知症ケア
② 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	1.5	1.5		<講義内容> ・認知症の概念 ・認知症の原因疾患とその病態 ・原因疾患別のケアのポイントと健康管理
③ 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	1.5	1.5		<講義内容> ・認知症の人の生活障がい、心理・行動の特徴 ・認知症の利用者への対応
④ 家族への支援	1.5	1.5		<講義内容> ・認知症家族介護者の現状の理解 ・認知症をもつ人の声、そして家族の声
(合計時間数)	6	6		

使用する機器・備品等	中央法規出版株式会社 発行 ・介護職員初任者研修テキスト ・DVD 教材
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。  
 ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。  
 ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。  
 ※ 項目ごとに時間数を設定すること。  
 ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 98

商号又は名称： 社会福祉法人 慶徳会

科目番号・科目名	(8) 障がいの理解			
指導目標	①障がいの概念と ICF、障がい者福祉の基本的な考え方を理解する。 ②それぞれの障がいの内容、特徴及び障がいに応じた社会支援の考え方を理解する。 ③障がい者の家族の心理の理解と支援の基本姿勢を学ぶ。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 障がいの基礎的理解	1	1		<講義内容> ・障がいの概念と ICF ・障がい者福祉の基本理念
② 障がいの医学的側面、生活障がい、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	1	1		<講義内容> ・身体障がいについて ・知的障がいについて ・精神障がいについて ・難病について
③ 家族の心理、かかわり支援の理解	1	1		<講義内容> ・障がいの理解・障がいの受容支援 ・障がいの受容の理解
(合計時間数)	3	3		

使用する機器・備品等	中央法規出版株式会社 発行 ・介護職員初任者研修テキスト ・DVD 教材
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。  
 ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。  
 ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。  
 ※ 項目ごとに時間数を設定すること。  
 ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。



## シラバス

指定番号 98

商号又は名称： 社会福祉法人 慶徳会

科目番号・科目名	(9) こころとからだのしくみと生活支援技術			
指導目標	①利用者主体の介護、個人の尊厳、QOL の考え方に基づいた介護を学ぶ。 ②③介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得する。 ④生活支援としての家事援助の考え方、機能と基本原則を習得する。 ⑤住環境の整備と福祉用具に関する留意点と支援方法を学ぶ。 ⑥整容の意義と目的を理解し、関連する用具の活用方法を学ぶ。 ⑦体位変換や移動・移乗に関する知識や基本的な技法、関連する用具の活用方法を学ぶ。 ⑧食事に関する栄養素・調理方法や介助方法・環境整備の重要性などを学ぶ。 ⑨入浴や身体の清潔に関する知識や福祉用具の活用方法を学ぶ。 ⑩排泄に関する基礎知識、環境や福祉用具の活用方法を学ぶ。 ⑪睡眠のメカニズムや心地よい睡眠の環境整備、関連した用具の活用方法を学ぶ。 ⑫終末期の基礎知識、「死」に向き合う心の理解、苦痛の少ない死への支援について理解する。 ⑬介護過程の目的、意義、展開等について学ぶ。 ⑭事例を用いて必要な生活支援等を学ぶ。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 介護の基本的な考え方	4	4		<講義内容> ・介護の基本的な考え方 ・重度化防止の視点
② 介護に関するこころのしくみの基礎的理解	3.5	3.5		<講義内容> ・高齢者の心理 ・自己実現と生きがいがづくり
③ 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	3.5	3.5		<講義内容> ・人体の名称とはたらき ・運動動作に関する基礎知識 ・神経系に関するからだのしくみ ・バイタルチェック
④ 生活と家事	7	7		<講義内容> ・家事と生活の理解 ・家事援助に関する基礎知識と生活支援 <演習実施方法> 演習手法：班体制を用いて、講師の指導のもと、生活支援に関するロールプレイングを行う。
⑤ 快適な居住環境整備と介護	3.5	3.5		<講義内容> ・住環境整備 ・福祉用具の活用 <演習実施方法> 演習手法：班体制を用いて、講師の指導のもと、福祉用具の利用を実際に行う。
⑥ 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	3.5	3.5		<講義内容> ・整容に関する基礎知識 ・衣類の着脱の介護 <演習実施方法> 演習手法：班体制を用いて、講師の指導のもと、整容及び衣類の着脱等に関するロールプレイングを行う。
⑦ 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	7	7		<講義内容> ・体位・姿勢の基礎知識 ・移乗の介護 ・車いすでの移動の介護 ・移動の介護 <演習実施方法> 演習手法：班体制を用いて、講師の指導のもと、移動・移乗等に関するロールプレイングを行う。

⑧ 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	7	7	<講義内容> ・職に関する基礎知識 ・食事の介護 ・口腔ケアの支援技術 <演習実施方法> 演習手法：班体制を用いて、講師の指導のもと、食事介助及び口腔ケア等に関するロールプレイングを行う。
⑨ 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	7	7	<講義内容> ・入浴・清潔保持に関する基礎知識 ・入浴の介護 ・身体の清潔の介護 ・整容の支援技術 <演習実施方法> 演習手法：班体制を用いて、講師の指導のもと、入浴介助、清拭及び整容等に関するロールプレイングを行う。
⑩ 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	7	7	<講義内容> ・排泄に関する基礎知識 ・排泄の介護 <演習実施方法> 演習手法：班体制を用いて、講師の指導のもと、排泄介助等に関するロールプレイングを行う。
⑪ 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	5	5	<講義内容> ・睡眠に関する基礎知識 ・睡眠の介護 <演習実施方法> 演習手法：班体制を用いて、講師の指導のもと、体位変換等に関するロールプレイングを行う。
⑫ 死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期の介護	5	5	<講義内容> ・終末期ケアに関する基礎知識 ・終末期ケア ・看取りの介護 <演習実施方法> 演習手法：「終末期ケア」について、班体制を用いてグループディスカッションを行う。
⑬ 介護過程の基礎的理解	6	6	<講義内容> ・介護過程の基礎的理解 ・介護過程の展開 <演習実施方法> 演習手法：班体制を用いて、複数の事例を活用してグループディスカッションを行う。
⑭ 総合生活支援技術演習	6	6	<講義内容> ・演習1 要介護者・家族介護者への援助 ・演習2 要支援者への支援 <演習実施方法> 演習手法：班体制を用いて、複数の事例を活用してグループディスカッションを行う。
(合計時間数)	75	75	

使用する機器・備品等	中央法規出版株式会社 発行 ・介護職員初任者研修テキスト ・DVD教材 ・車いす、ベッド、補助具等
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

## シラバス

指定番号 98

商号又は名称： 社会福祉法人 慶徳会

科目番号・科目名	(10) 振り返り			
指導目標	①研修を通して学んだことの振り返りを行いながら、介護の要点の再確認を行う。 ②現場・事業所の概要、働く職員の体験談等を通して、介護現場への理解を深める。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 振り返り	2	2		<講義内容> ・学習到達度の振り返り  <演習実施方法> 演習手法：班体制を用いて、研修を通して学んだことについて、グループディスカッションを行う。
② 就業への備えと研修修了後における研修	2	2		<講義内容> ・質の向上と人材育成 ・事業所等における実例に学ぶ  <演習実施方法> 演習手法：班体制を用いて、事業所での就労について、グループディスカッションを行う。
(合計時間数)	4	4		

使用する機器・備品等	中央法規出版株式会社 発行 ・介護職員初任者研修テキスト ・DVD 教材
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。